

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	後藤 洋
主な担当科目	楽曲分析特殊講義,作曲・編曲法Ⅱ,実技グループレッスン〔作曲Ⅱ②〕
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	前年度に引き続き、創作・表現のいずれにおいても、学生が自分で考え、問題やみずからの課題を発見し、判断できるように指導を行う。そのため討議・質疑の機会を増やし、各学生の考えに沿った課題を与えるほか、学生の意見や実施の結果をできる限り評価し、目指すことが進展するように、また時には軌道修正できるように助言を与える。
2023年の教育に関 する自己評価	上に挙げた教育目標にほぼ沿った形で授業・実技レッスンを展開することができた。同じ授業を履修する学生のレベルに格差があり、討論や質疑の内容が納得のいく形で共有できにくい、という2020年度からの課題は、各学生の考えや学修成果を個別に評価し、共有する指導をこころみた結果、少しずつ解決されつつある。新年度も同様の指導を継続したい。
2023年のFD活動 に関する自己評価	コロナウィルス感染予防のため各学生への指導、およびマスク着用・手洗い・うがい等の自己管理を徹底し、成果を挙げたと考えている。また前年度よりさらに増加した外国人留学生に対する注意深いケアに努め、相互理解とコミュニケーションで成果を得た。
授業改善のために 取り入れた研修内容	作曲・編曲法Ⅱ、オーケストレーション、および楽曲分析特殊講義の授業で学生に例として提示する音楽作品の研究と分析を、前年度に増して十分に行った。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2629 教員名:後藤 洋

1)アンケート結果に対する所見

概ね授業の内容、教育目標、教員の狙いを理解し、それらを好意的に評価した内容である。ただ、「作曲・編曲法 II」は評価が分かれた。これは、吹奏楽の作曲・編曲法を学ぶこの授業の受講者が、吹奏楽への関心の高さ、豊富な経験の有無、将来、吹奏楽の作曲・編曲をこころみる(または仕事とする)可能性の有無について、個人差があるためと考えられる。シラバスの内容に沿った授業展開がなされなかった、との回答も、学生の反応や理解度を確認しながら授業をした結果、たびたび内容の方向転換をこころみたためと思われる。

2)要望への対応・改善方策

上記1)の「作曲・編曲法 II」についての結果を鑑み、シラバスをさらに柔軟な、学生にとって理解しやすい内容に修正する必要がある。可能であれば、作曲・編曲の実践を課題等でこころみた場合、その実践結果を実際に演奏して検証できるようにしたいと考えているが、これについては、演奏者の手配など、難しい問題もある。今後弦管打部会や教務の方々と相談を重ねていきたい。

3)今後の課題

以上に示したとおり、シラバスの内容を精査すること。また、「作曲・編曲法 II」がより実践的な内容となるよう、教務的な調整を進めること。

以 上